

恐怖は温もりを消す



東郷 潤

美しい公園があります。



昔から地元の人々が公園を管理し、定期的に公園の清掃をしているのです。彼らは自分たちの公園を愛し、誇りに思っていました。

清掃作業の強制は一切ありません。みな公園が好きだからやっています。



時々、飾りつけをする人もいます。公園の壁には、可愛い絵が描かれていて訪れた人たちの心を和ませてくれています。

けれど町民の中には清掃に協力しない人がいます。それどころか、ゴミを散らかす人すらいるのです。



そこで何人かの有志が公園の中を見回ることになりました。



それでもゴミの不法投棄は0にはなりません。清掃に出てくる顔ぶれも固定されてきました。



そこで彼らは町議会へ働きかけることとしました。

そして、ついに議会で公園美化の条例が制定されたのです。



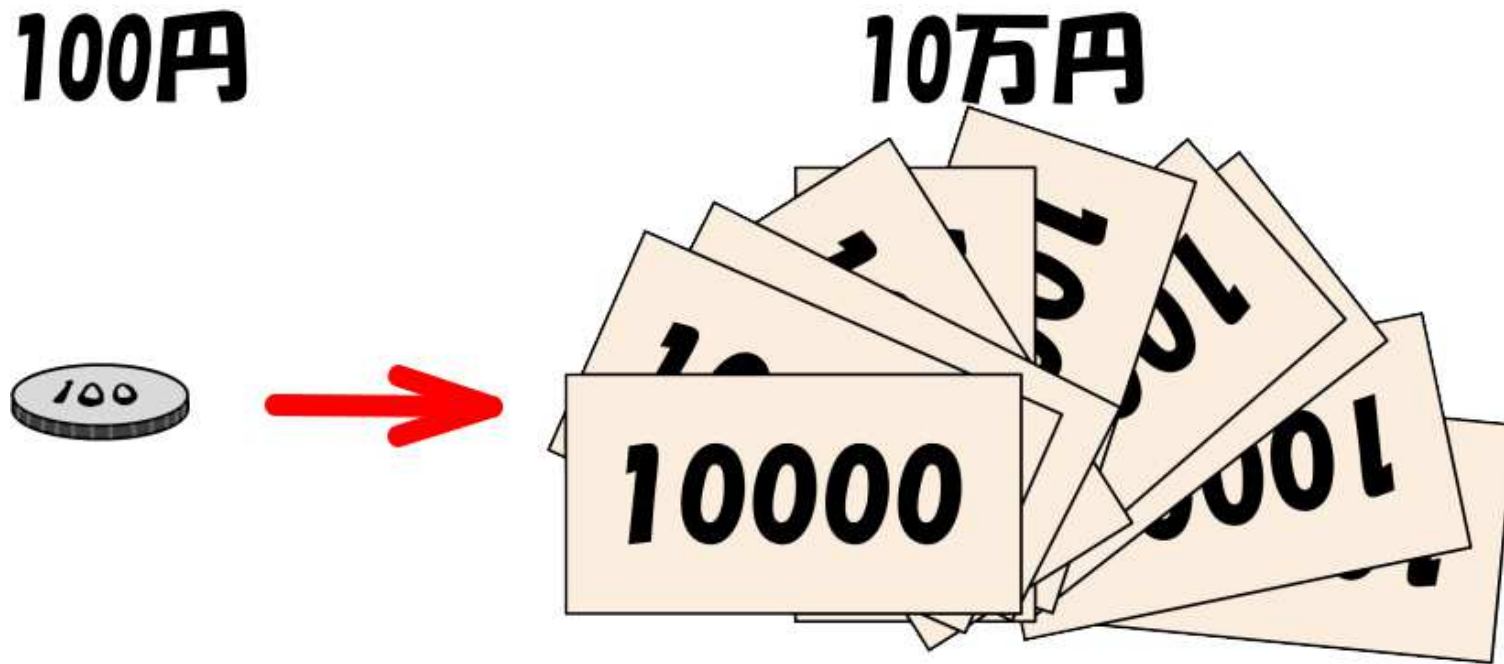
公園の清掃は町民全てへ義務付けられ、違反者には少額ですが罰金が科せられます。
またゴミの不法投棄は厳罰にすると決まりました。



こうして多くの町民が、公園の清掃活動に参加するようになったのです。



けれど町民全員が清掃作業に参加することはありませんでした。「罰金の百円を支払えばそれでいいだろう」というのです。そこで罰金額が引き上げられました。



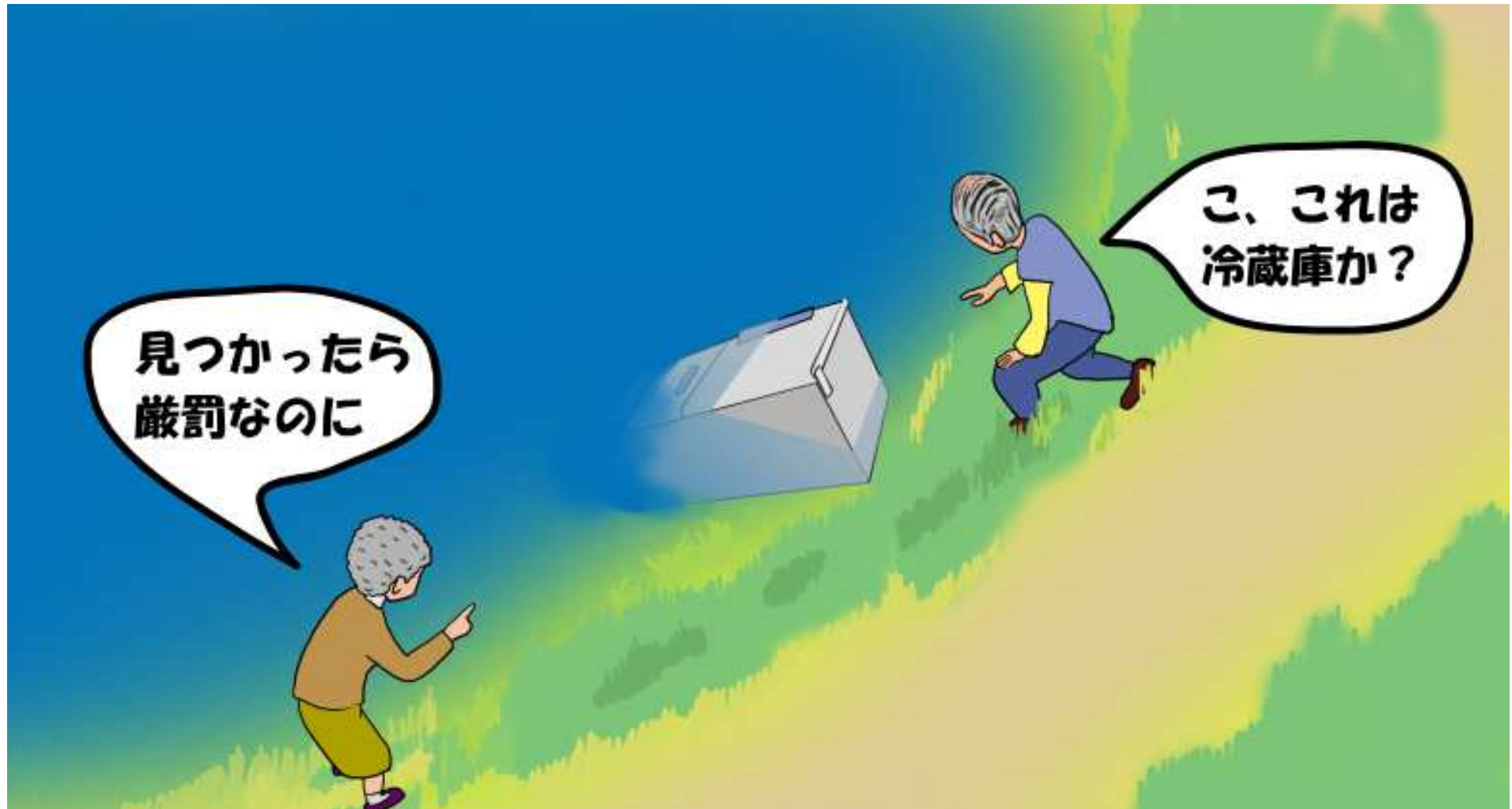
これは効果絶大でした。

町民全員が参加してくれるようになったのです！



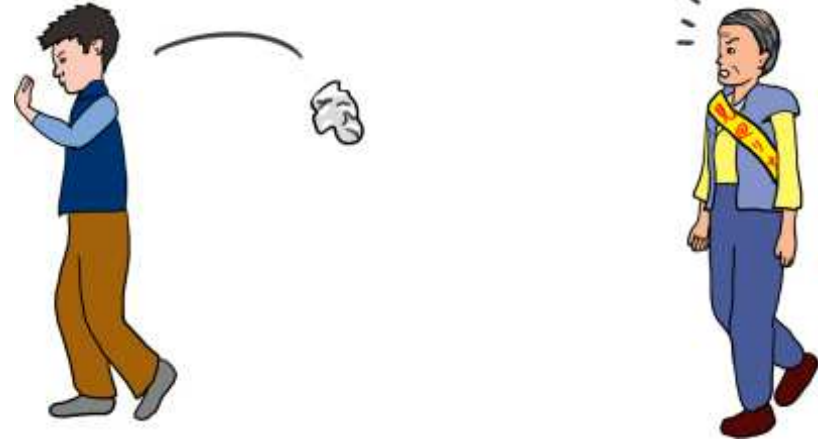


さて一方、ゴミの不法投棄は厳罰化で減ったものの、0にはなりませんでした。



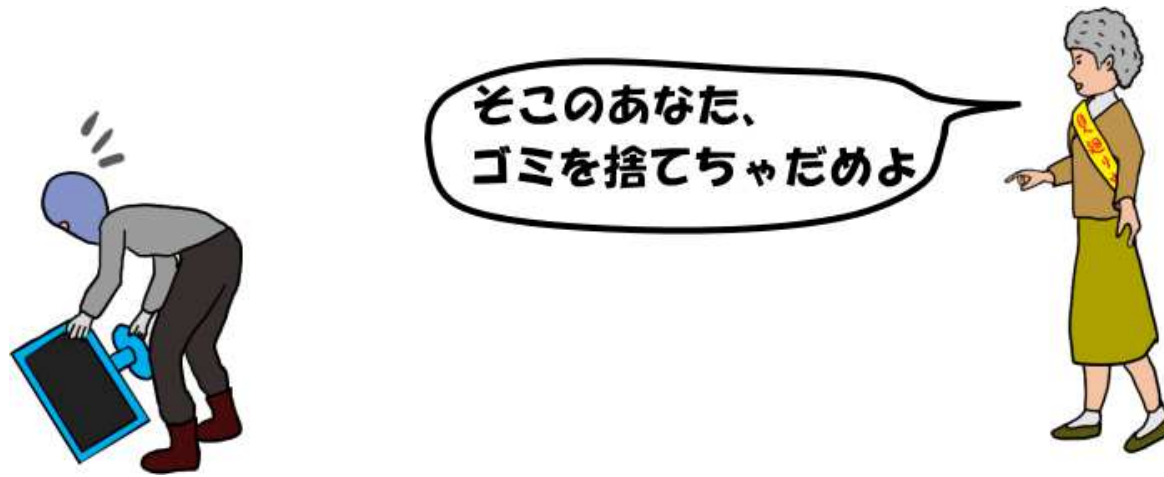
それどころか個別の不法投棄は以前よりも悪質になったのです。

中止していた、公園の見回りも復活しました。



なぜか以前のようにには誰も謝りません。





それどころかこんなことまで。



その後、不法投棄の見回りは屈強な男性の仕事となりました。



この公園にはチリー一つ落ちていません。でも壁に絵はなく飾り付ける人もいません。





恐怖は温もりを消します。

あとがき

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です(商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます)。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

www.j15.org

©Jun Togo 2017